

## 放送のデジタル化がもたらすもの

### Digital Broadcasting Services Leading a New Era in IT Infrastructure



宮部 安男  
MIYABE Yasuo

今年9月のシドニーオリンピックでBSデジタル放送の試験放送が行われ、12月からは本放送が開始されることとなります。いよいよ放送のデジタル化の幕開けです。

放送のデジタル化によって、家庭(視聴者)やビジネスがどのように変化していくでしょうか。デジタル放送では、ハイビジョンによる高画質・高音質の臨場感あふれる場面創出、EPG(電子番組ガイド)による見たい番組の確認と録画/視聴予約、通常放送3番組分が同時に送信されることによる視聴者の主体的な番組切替え、などができるようになります。

また、新たに登場するデータ放送では、番組連動型で表番組の進行に合わせて詳細情報を提供できますので、深みのある内容を持つ番組を楽しめるようになります。

ビジネスの世界では、デジタル、データ放送の双方向性を生かした新たなビジネスモデルが創造されていきます。従来の“見るだけのテレビ”から“生活情報・利便性を提供するテレビ(使うテレビ)”への進化をもたらします。

放送のデジタル化によって、放送と通信、更にはコンピュータとの融合が進み、そのシステムインフラの下で、メディアの融合・統合とそれを活用した新しい形のサービスが既存の業種・業態の枠を超えて創出されていきます。

市場のボーダレス化や消費者行動の変化(ライフスタイル・価値観の多様化、有限な時間を大切にす利便性へのこだわり)が新しいビジネスモデルを求める背景にあり、デジタルテレビをプッシュ型のメディアとした放送型EC(電子商取引)としてのテレビコマースの実現が目の前にあります。インターネットと融合して、オンラインショッピングや多分野の情報サービス、双方向性の広告、マーケティングリサーチのビジネスモデルが、放送局、流通業、物流業、製造業、情報サービス業、金融機関を含めた価値連鎖によって実現されていきます。

このような激しい時代変化のなかで、当社としても価値連鎖を実現するメンバーの一人として貢献していきたいと考えています。